

令和 5年度施策評価書

政 策	06 市民と共につくり未来へつなぐまちづくり
施 策	01 互いに認め合う共創社会の推進
主管課	市民協働課
関連課	地域福祉課、総務課、市民協働課、秘書課、政策企画課、くらし安全課、スマイルライフ推進課、スポーツ課、
施策が目指す姿	市民/互いに認め合い、地域課題に取り組んでいる

方針

令和 5年度	・ 地域と行政を対話でつなぎ、地域づくり活動を担う人材と行政が連携した学習会を開催するなど、共創社会の実現に向けた取り組みを行う。 ・ 男女共同参画情報紙の発行、男女共同参画・人権フォーラムを開催するなど、男女共同参画に対する理解を更に深めてもらうための取り組みを行う。 ・ 日本語指導者・市民サポーターと連携した日本語教室や「はあとふるYaizu」の開催、外国につながる市民へのリアルタイムでの情報提供など、多文化共生を推進するために取り組みを行う。
--------	--

指標

成果 指標名①	まわりに認められ尊重されていると思う人の割合					単位	%
						達成率区分	増加目標
目標値		令和02年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	計画		49.3	49.3	49.3	49.3	
	実績	49.2	50.9	56.6			
達成率			103.25%	114.81%			
成果 指標名②	まちづくり活動（NPOやボランティア活動）に参加したいと思う人の割合					単位	%
						達成率区分	増加目標
目標値		令和02年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	計画		51.7	51.7	51.7	51.7	
	実績	51.6	53.6	59.3			
達成率			103.68%	114.7%			
成果 指標名③						単位	
						達成率区分	
目標値			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	計画						
	実績						
達成率							

事業費内訳

(単位：千円)

		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
事業費	計画	0	0	130,562
	実績	0	0	123,997
財源内訳	国庫	計画	0	5,000
	支出金	実績	0	5,000
	県	計画	0	5,896
	支出金	実績	0	5,592
	地方債	計画	0	0
		実績	0	0
	その他	計画	0	19,954
		実績	0	20,936
	一般	計画	0	99,712
	財源	実績	0	92,469
人件費	計画	0	0	17,726
	実績	0	0	54,067
トータル コスト	計画	0	0	148,288
	実績	0	0	178,064

評価

施策の 振り返り	・自治基本条例推進委員会を開催し、条例の普及啓発の状況確認や条例制定10周年記念事業に関する検討を行った。／・「まちづくり市民集会」を開催し、参加した65.7%の人が「自分の思いを話すことができた」、また、62.9%の人が「いろいろな人の意見が聞けて良かった」と回答しており、地域社会の課題や市の未来について意見交換や情報を共有することができた。／・「やいづ未来まちづくり研修会」を初級編とスキルアップ編の2つの講座に分けて開催し、地域づくり活動を担う人材の発掘及び育成に取り組んだ。 ・男女共同参画を推進するため、第4次男女共同参画プランの策定を行うとともに、情報紙の発行やアドバイザー派遣などを行った。／・男女共同参画・人権フォーラムでは、「ある幸せ、ない幸せ～自分で決める暮らし方～」をテーマに講演会を行い、参加者の約85%が男女共同参画について理解が深まったと感じたと回答し、男女共同参画を通し全ての人の人権が尊重される社会の啓発ができた。 ・多文化共生推進協議会を開催し、多文化共生推進計画の進捗管理と多文化共生に関する状況などの情報を共有した。／・「はじめての日本語教室」を開催し、外国につながる市民の日本語力の向上に努めるとともに、教室をきっかけとした新たな交流事業を実施した。／・外国語版の広報紙やホームページ、やさしい日本語によるLINEなどで市政情報を発信した。 ・ホバート市長を表敬訪問し、2027年2月の姉妹都市交流締結50周年に向けた記念事業などについての意見交換や今後の交流事業の方向性についての共有を図った。 ・モンゴル国チンゲルテイ区と職員交流をはじめとした交流を実施すると共に、今後の更なる交流推進を図るため、チンゲルテイ通りの設置や友好都市提携を締結した。
施策の 課題	・自治基本条例の理念や協働についての理解を広める取り組みを継続する必要がある。 ・地域のつながりや互いに尊重し認め合う意識の醸成を図るとともに、まちづくりに役立つスキルを習得するための研修会を開催する必要がある。 ・男女共同参画意識を高めるため、引き続き啓発活動への取り組みを進める必要がある。 ・第4次男女共同参画プランにおいて重点目標と位置付けている、「女性の活躍推進」と「ワークライフバランス実現」に集中的に取り組んでいく必要がある。 ・外国につながる市民は年々増加しており、地域における日本人市民との、相互の理解と交流の促進に取り組むとともに、市政情報などを積極的に発信する必要がある。 ・ホバート市姉妹都市交流50周年に向けた記念事業など、友好協会やホバート市と協議を重ねていく必要がある。 ・友好提携を締結したチンゲルテイ区と、市民団体や企業など幅広い世代や様々な分野での交流につながる事業を推進していく必要がある。
市民意見	・自治基本条例を読むだけでは理解するのが難しいため、わかりやすい絵や言葉を用いた説明資料があるといいと思う。 ・地域のつながりが希薄になっていると感じるため、“つながる”という言葉キーワードに地元の自治会で文化祭を開催したところ、地域の人との絆（きずな）を深めることができた。 ・学校で地域との交流活動をした経験から、市民同志で協力して何かができたら素晴らしいと思う。